

医療の連携

開院1年目で地域医療機関、福祉施設、在宅介護関連事業所、役場等との関係調整に奔走した。地域における唯一の急性期病院としての位置づけのため、又医療機能の周知、検査機器の有効利用を目指し、2回の地域医療連携会議（CT、MRIの機能紹介）を企画開催した。又、診療体制のご案内、毎月の外来一覧と病院情報の広報を積極的に行い、渉外活動を充実した。結果、近隣医療機関からの紹介総数1,247件、逆紹介460件となっている。FAX紹介患者も微増しているが今後も活用を促進していきたい。

援助内容別件数

生活環境上の援助	408
医療・所得保障	202
心理・情緒的援助	6
受診・受療援助	3
退院（転院）援助	465
その他	2
合 計	1,086

転院援助

地域にリハビリ、療養型の医療機関がないため、熊本市内や宇城地域の遠方へ転院せざるを得ない状況である。転院調整件総は63件であり、多くはないが家族との面接で困難なケースもみられた。地域の老人保健施設役割との関係構築が今後の大きな課題と考える。

転院調整件数

	病病連携	病診連携	その他	計
一般紹介退院数	48	8	7	63

退院援助

地域の在宅介護支援事業所との良好な関係づくりに努め、退院援助の際にはケアマネージャーに連絡をとり、早めに介入できるようにした。高齢者世帯、独居老人が多い地域であるため在宅復帰するためには患者本人のモチベーションと家族の理解協力が不可欠である。家族が同居していても自宅療養・介護を拒むケースが多い。退院前の自宅訪問をPTと協同行った（16件）。

紹介と逆紹介

